

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2014年 No.325

発行：埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317

Tel.048-296-4771

Fax.048-296-7182

ホームページ：http://www.kyoudou-hp.com

11

平成26年
10月1日
から

水痘ワクチン・肺炎球菌ワクチンが 定期接種となりました

水痘とはどんな病気ですか？

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスというウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、その潜伏期間は感染から2週間程度とされています。発疹の発現する前から発熱が認められることもあり、典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱、膿疱（粘度のある液体が含まれる水疱）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒するとされています。一部は重症化し、近年の統計によれば、我が国では水痘は年間100万人程度が発症し、4,000人程度が入院、20人程度が死亡していると推定されています。

水痘は主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めるとされています。小児における重症化は、熱性痙攣、肺炎、気管支炎等の合併症によるものです。成人での水痘も稀に見られますが、成人に水痘が発症した場合、水

痘そのものが重症化するリスクが高いと言われています。

肺炎球菌とはどんな病気ですか？

肺炎球菌は免疫のはたらきが十分でない、乳幼児や高齢者にさまざまな病気を引き起こします。肺炎球菌によって起こる主な病気には、肺炎、気管支炎等の呼吸器感染症や副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎、菌血症などがあります。本来であれば菌が検出されない場所（血液や脳脊髄液など）から菌が検出される病態（髄膜炎、菌血症など）を特に侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）と呼びます。侵襲性肺炎球菌感染症は5歳以下の乳幼児と65歳以上の高齢者に多く発症することが知られています。また、細菌による感染症はペニシリンなどの抗生物質により治療しますが、近年は抗生物質が効かない薬剤耐性菌が増えているため、治療が困難になっているという問題があります。そこで、ワクチンにより、病気をあらかじめ予防する



ことが以前にも増して大切になってきています。現在、肺炎球菌感染症を予防するワクチンとしては、23価肺炎球菌多糖体ワクチンと、13価肺炎球菌結合型ワクチンの2つが接種可能です。適用をご確認ください。

川口市定期予防接種の受け方

<http://www.city.kawaguchi.lg.jp/kbn/24200018/24200018.html>



詳細はこちら

駅前健康相談

忙しい方や 体調に不安がある方へ

10月6日（月）18時30分～19時30分、東浦和駅前前で「働くものの健康相談」を実施しました。医師10名、他職員30名が参加し、院長をはじめ、職員が「お仕事帰りの皆様お疲れ様です。忙しくて病院に行けない、体調に不安があっても病

院に行く時間がないとお思いの方は、医師、看護師が無料でご相談をさせていただきます」とマイクで訴え、改札近くでは職員が健康相談の呼びかけを行いました。

1時間という短い時間でしたが、24名の相談者が訪れ、「血圧が高くて心配」「病院にかかりたいが忙しくて受診できない」「症状が軽いので様子を見ている」「先日テレビを見て自分の症状が気になった」など相談内容はさまざまでした。

今後も地域の病院として定期的に行っていきたいと考えています。



駅前健康相談

ボランティア学校のご案内



「ひとつぶの会」の皆様

当院でボランティア活動を行っております「ひとつぶの会」より埼玉協同病院の「ボランティア学校」のご案内をさせていただきます。この企画は、「ボランティア活動をやってみよう」と希望される医療生協の組合員さんにボランティア学校を受講していただき、正式に登録するしくみになっています。ボランティア学校は、半日の講習で患者様との接し方など基本的な事柄を学習する内容になっています。具体的な日程等は、以下を参照してください。

開催日時：2014年11月26日（水）

場所：埼玉協同病院 B館5階会議室

時間：9:30～15:30（受付9:00～）

受講対象者：医療生協さいたまの組合員

参加費：1,000円（昼食、資料代など）

講義内容：「医療生協のボランティア活動」

「お年寄りの心と身体」

「リハビリの講義と実習」

外来や入院の患者案内等を体験します。

また、その他のボランティア活動の紹介をします。

申し込み方法：埼玉協同病院 外来医事課（森川）管理部（日野）まで
☎048-296-4771

医師の紹介 日本小児科学会認定小児科専門医 平澤 薫医師

子どもたちを笑顔にしたい



子どもの頃の夢は漫画家になることでした。小さい頃にドラえもんや出合い、それから藤子・F・不二雄先生の大ファンでした。話下手でじれっ子だった僕は、のび太そのものでした。藤子先生の夢あふれる漫画に夢中でした。僕も子どもたちを笑顔にしたい、それが僕の原点でした。

中学生の頃から医師になりたいと思い、19歳で弘前大学に入学しました。入学試験で吹雪の中街中で遭難、受験票を忘れ、試験当日高熱…、まさにのび太でした。それから6年間、医学は

もちろん、人間の温かさや厳しさをたくさん学びました。

2000年に医療生協さいたまに入職しました。すでに小児科医になろうと決めていました。子どもたちに笑顔を、その原点は健在でした。3年目にさいたま市立病院で外部研修し、その後小児科学会専門医を取得しました。子どもが生まれて、親の喜び、苦労を実感しました。自分の子育てが一番僕にとって重要な研修だったのかもしれない。

2005年、2011年に病気で休職しました。どん底まで落ちた僕を救ってくれたのは家族でし

た。本当は一番不安だったであろう妻からの励まし、子どもたちからの笑顔のエネルギー、涙と一緒に僕の絶望を流してくれました。そして学びました。子どもが笑顔になるためには、家族や周りが笑顔でなければならない。子どもの笑顔があれば、家族も笑顔になれる、何があっても立ち直れる。

今は、単純に年齢で診察する患者様を区切るのではなく、子どもを取り巻くあらゆる人の健康を考えていく、そんな医師であらうとしています。

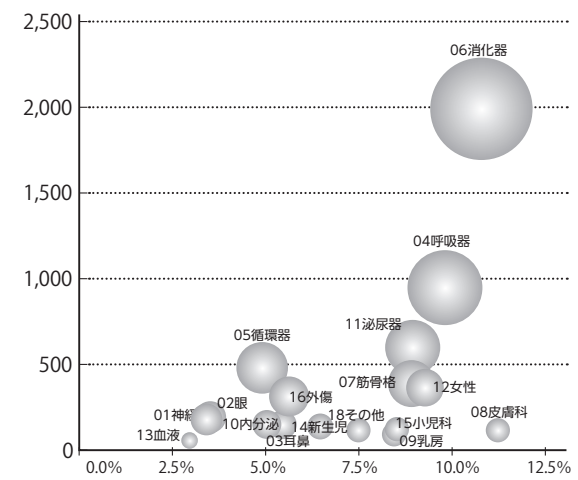
シリーズ 医療の質の改善 16 厚生労働省のDPC公表データでわかること

地域での当院の役割と医療の標準化の状況

今回は公開されたDPC（診断群分類）データから当院の入院治療の状況について紹介します。

DPCというのは、全国の急性期病院の治療の状況を、病気の種類や重さや治療内容が似た患者様をグループにまとめて比較できるようにしたもので、「診断名」と「処置」の組み合わせで決まっています。図1は近隣（川口・戸田・さいたま）DPC病院の中での主要診断群ごとの患者数に占める当院患者の割合を示したもので

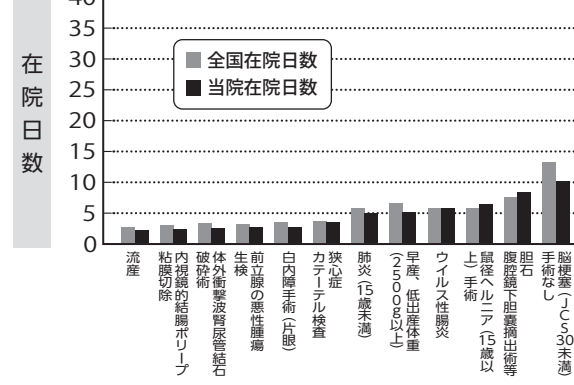
図1 川口・戸田・さいたまDPC病院の患者様における主要診断群別の当院患者様数割合



す。高さや円の大きさが患者数を、右へ行くほど、当院の割合が大きいくことを表します。消化器と呼吸器、女性、泌尿器、筋骨格系の疾患は数も多く比率も高いです。皮膚疾患、精神の疾患は、数は少ないが地域の中での割合が高く、当院の診療機能の特徴を表しています。

図2は2013年度の退院患者データのうち当院の症例数の多い20の診断群について全国のDPC対象病院の平均在院日数と比較したものです。左から淡い棒が全国の平均在院日数、濃い棒が当院です。左から在院日数の短い順に並べてみると、標準的で効率的な計画（クリニカ

図2 DPC別在院日数の全国との比較



ルパス）が確立できている診断群では全国平均よりも短くなっています。長い診断群は計画自体が長い、患者様による差が出やすい、標準化が難しい疾患などです。

クリニカルパスは診断や治療・ケアの内容を標準化し確実・効率的に進めるうえで効果的です。患者様にとっては、治療がどのように進んでいくのかがわかり、治療や検査に向けての心の準備や注意する点、およびその医療費についてわかるため、安心して治療にのぞむことができます。当院には現在126種類のクリニカルパスがあり適用率（どれだけの患者様に適用して

いるか、医療の標準化の指標の一つ）は43%です。患者数の多い疾患は標準化の必要性が高い疾患です。状態に応じたクリニカルパス、例えば入院から初期治療の評価までを一連の計画として標準化するなどが、今後は必要となっています。

インフルエンザ予防接種のお勧め

1面のつづき

インフルエンザは、感染した人が咳やくしゃみなどをする事で空気中に広がり、それを吸い込むことで感染が広がります。流行には気温と湿度が関係していて、気温と湿度が低いほどインフルエンザウイルスの生存期間が長くなります。

1週間の経過で治療に向かいますが、普通の

風邪に比べて全身症状が強いのが特徴で、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化すると死に至ることもあります。特に65歳以上の高齢の方、福祉施設などに入居されている方、慢性的な病気を持つ方、気管支喘息をもつ小児などは重症化を防ぐために予防接種をお勧めします。

埼玉協同病院小児科インフルエンザ詳細QRコード

http://kyoudou-hp.com/k-sinryo/i-06.htm#inf2014



憲法9条を守る活動にご協力ください

2014年7月1日に多くの反対の声を押し切って、集団的自衛権の行使を容認する新たな憲法解釈を強行する「閣議決定」が行われました。立憲主義に反して憲法9条を破壊し、日本を「戦争する国」に変えるこの舉手に反対して、毎月9日に街頭宣伝行動を行っています。

いのちを守る私たち医療従事者は、いかなる理由があっても、戦争は反対です。私たちが当たり前の生活を送るためには、「平和」であるこ

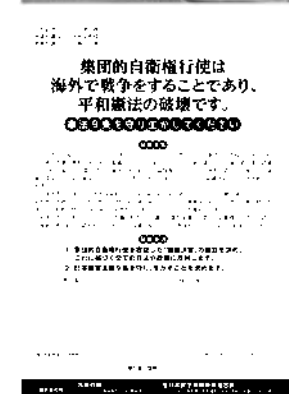


9月9日、川口駅東口での訴え

とは絶対条件です。今年度日本国憲法を学び、今日日本が迎えている憲法改正の何が問題なのかを多く若手職員が学び、その後行動できるような機会を設けています。

また院内では署名活動も行っております。受診やお見舞いの際病院を利用される時には、多くの方に署名の主旨に賛同いただきご協力をお願いしています。

一人ひとりの小さな活動を、大きな力にして、憲法9条を守る活動に是非ご協力ください。(SHJ委員会)



いのちのSAMBA 9条の会

私は8月に広島で行われた原水爆禁止2014世界大会に、医療生協さいたまの埼玉県代表団の一人と参加させていただきました。産婦人科病棟の助産師で結成された、いのちのSAMBA 9条の会の取り組みとして、赤ちゃんの足型タペストリーを作成し今年も平和への思いを広島に届けることができました。

このタペストリーは私たち助産師が、日々命が誕生する貴重な瞬間に立ち会わせていただくなかで、「日本の未来を担うこの子たちにとって、この小さな足で歩む未来が、明るく平和なものでありますように」との願いを込め2007年より作成しています。その思いに賛同して下さった赤ちゃんの足型を署名として頂き、スタッフ間で協力し作成しました。

平和の木に実る、色とりどりの足型葉っぱと花言葉が平和であるヒナギクをイメージしたタペストリーを是非一度産婦人科外来へ観にいらしてください。

(産婦人科病棟助産師 梅崎美波)



産婦人科病棟の皆さん

埼玉協同病院の関連施設のご紹介

ケアセンター うらしん

ケアステーションうらしんは、4事業（訪問看護・訪問介護・居宅介護支援・デイサービス）をコープハウス未来館で行って来ました。事務所が手狭にな



訪問看護師

り、訪問看護はほかの場所を借りていましたが、2014年9月に居宅介護支援事業・ヘルパーステーション・訪問看護が再び、同じ事務所となりました。3事業がそろったことによって、今後、機能強化型の訪問看護ステーションを目指します。

機能強化型の訪問看護ステーションは最後まで住み慣れた場所で生活の安心を支え、地域に開かれた事業を展開すること（医療相談・地域住民に向けた学習会・看護師の育成機能など）が求められています。私たち訪問看護チームは、病院と自宅の看護・介護をつなぐかけはしとなるよう、さまざまな相談に応じ、医療依存度の高い方や終末期の方、小児から高齢まで、他職種多機関連携をしながら、ご本人やご



住所：〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-8-12 河野ビル4階 ☎048-833-7373

【営業日】月～土（祝日含） 08：30～17：30 【休 日】日・年末年始

家族と在宅生活が継続できるよう共に考え、サービスの提供をしています。

これまでも浦和民主診療所や近隣の先生方と学習会や事例検討会を行って来ました。未来館に残ったうらしんデイサービスとも連携を強化し、引き続き、訪問看護、訪問介護と訪問診療で、生活に寄り添った目標をもって在宅生活を支援していきます。

所長：村崎 郁子

医療生協学校 運営委員になった方から感想と抱負

9月29日（月）ふれあい会館にて、「医療生協学校」を72名の参加で開催しました。

第1部の「医療生協へようこそ」では、医療生協で行われている健康チェックを体験してもらいました。

第2部の「医療生協 過去・現在・未来」は、医療生協さいたま地域社会と健康研究所の高石所長より「世界からみた日本の医療生協」のお話をうけて、「私と医療生協」と題してグループディスカッションを行いました。最後に新しく運営委員になった8名の方から感想と抱負を話していただき、有意義な時間となりました。



医療生協学校

協子ちゃんの健康マメ知識 第155回 ● 下肢静脈超音波検査 ●

震災等で注目されるようになりました静脈血栓性血栓症を検査するのにも超音波は用いられます。繰り返し検査が可能な事や場所を限定しないことが選ばれている理由です。静脈血栓性血栓症とは長時間同じ姿勢を取り続けることや脱水、手術後などで手足の静脈の血液の流れが滞り血栓を作り静脈を詰まらせてしまう状態のことです。またその血栓がちぎれ血流によって肺の動脈を塞いでしまいますと肺動

脈血栓症になり命にかかわる状態になります。この検査は下腹部から足の先までの静脈を観察します。仰向けになったりうつ伏せになったり座ったりしながら血管を描出し、静脈を圧迫したり（血栓の無い静脈は圧迫によって圧縮される）、手でふくらはぎを揉んで体幹に戻る血流の状態を見ながら検査が行われます。

